

平成30年度事業報告について

第1 事業推進の基本方針

北海道の酪農畜産は、広大な自給飼料基盤を背景に、生産者をはじめ関係者による不断の努力により、厳しい気象条件を克服しつつ今日まで発展し、地域の経済や雇用、更にはコミュニティーを支える重要な基幹産業として大きな役割を果たしている。

しかし、近年、担い手の高齢化や後継者の不足などにより離農に歯止めがかからず、生産基盤の脆弱化が懸念されている。

また、TPP11や日欧EPAの発効や日米物品貿易協定（TAG）交渉の開始など、国際貿易の進展による影響が懸念される中、台風や集中豪雨、更には地震などの自然災害に見舞われ、生産者の先行きに対する不安は大変大きなものとなっている。

このような中、国では、国際化対策の一環として畜産クラスター事業や楽酪・楽酪GO事業、自然災害からの復興を支援する畜産経営災害総合対策緊急支援事業などを措置し、地域が一体となって収益性の向上や生産力の回復を図る取組みを支援している。

本協会としても、道内酪農畜産の経営基盤確立に資するため、関係機関・団体と緊密な連携を図りながら、これらの事業を自ら取組むとともに、畜産経営の改善指導や家畜の登録改良をはじめとする生産振興を一層充実・強化して、各般の事業を効果的かつ効率的に実施した。

第2 事業の実施状況

1 経営改善指導事業

活力のある安定した畜産経営を育成・確立するため、経営診断の実施、研修会の開催及び各種情報提供等による経営改善指導を行った。

(1) 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会/補助 23,486 千円）

畜産の担い手育成・確保に向けた体制の整備・強化を図り、各般の畜産振興対策の効果的推進に努めた。

(2) 強い農業づくり事業：畜産経営技術高度化対策（北海道・北海道農業公社/補助他 4,201 千円）

新たな畜産の担い手や地域の中核となる畜産経営を支援するため、経営診断結果を基に経営改善や生産技術指導と経営管理等総合的な支援を行った。

経営診断・分析支援 25 件

(3) 畜産経営診断指導事業（農協・生産者/1,134 千円）

畜産経営の各種分析を行い、経営改善のための助言及び指導を行った。

助言指導 14 件

(4) 酪農経営支援システム管理運営事業

対象農家について、農協・関係機関よりデータを収集し、その分析結果を営農指導等の支援資料として農協に提供した。

利用農協	24 農協	分析	1,118 件
------	-------	----	---------

(5) 畜産特別資金等推進指導事業（中央畜産会/補助 29,884 千円）

畜産特別資金及び畜産経営維持緊急支援資金の借受者に対する経営改善指導のため、関係機関団体と連携して、借受者に対する計画作成指導、計画達成指導の実施及び融資機関等の指導体制確立のための支援指導を行った。

① 都道府県支援協議会の開催

・協議会活動の企画・調整等	4 回
・経営事例調査	27 件

② 融資機関への指導・助言

・研修会等	4 回（札幌市、旭川市、幕別町、釧路市）
・協議会による巡回指導	1 箇所

③ 経営改善計画作成・見直し及び達成指導

・計画作成指導等	169 件
・濃密指導（月次モニタリング）	4 農協・12 件

2 畜産生産振興事業

畜産の生産振興及び生産基盤の強化に資するため、次の事業を行った。

(1) 強い農業づくり事業：和牛生産基盤振興

（北海道・ホクレン農協連・ジェネティクス北海道/補助他 32,664 千円）

北海道和牛の産地ブランド確立のため、生産者をはじめ、関係機関・団体が一体となり、優良繁殖雌牛の選抜・保留や次世代種雄牛の造成、道内肥育の推進など、北海道和牛の生産基盤強化を図る取組みに対し支援を行った。

① 道産種雄牛を活用した和牛生産基盤強化対策

・ゲノム育種価評価	603 頭	18 集団	11,100 円/頭
-----------	-------	-------	------------

② 育種改良組織活動強化

・ゲノム育種価評価	120 頭	2 集団	11,100 円/頭
・現地検討会	2 回		

③ 高能力繁殖雌牛活用推進	196 頭		15,000 円/頭
---------------	-------	--	------------

④ 新規種雄牛早期市場評価推進対策	40 頭		30,000 円/頭
-------------------	------	--	------------

⑤ 道内肥育推進対策

・道内出荷仕向け導入奨励	75 頭		50,000 円/頭
・道内出荷仕向け増頭奨励	74 頭		120,000 円/頭

⑥ 枝肉改良共同研究

・画像解析技術による脂肪交雑形状の指標評価活用法の開発	帯広畜産大学
・低コスト早期肥育出荷技術モデル実証	畜産試験場

(2) 肉用牛経営安定対策補完事業（農畜産業振興機構/補助 298,443 千円）

① 肉用牛生産基盤強化対策

生産者集団等が行う生産基盤強化に資する取組みに対し支援を行った。

- ・繁殖雌牛の増頭に対する助成

育種価等要件達成 1,515 頭 80 千円/頭・100 千円/頭

- ・肉用牛ヘルパー活動に対する助成（1/2 以内） 12 利用組合
- ・簡易牛舎の整備に対する助成（1/2 以内） 32 件

② 地域の特色ある肉用牛振興対策

生産者集団等が行う地方特定品種の生産基盤の維持強化への取組みに対し支援を行った。

- ・褐毛和種の肥育牛計画出荷に対する助成 151 頭 9,000 円/頭
- ・離島子牛の島外家畜市場出荷に対する助成 79 頭 3,800 円/頭
- ・日本短角種経営の自給飼料生産資材等に対する助成 2,046 千円/生産者集団

③ 災害緊急支援対策

平成 29 年度大雪被害、平成 30 年度北海道胆振東部地震や台風 21 号で被災した肉用牛農家の経営継続・再開に向けた支援、また、停電時に家畜の生命維持に必要な機械を稼働させるための非常用電源の整備について支援を行った。

- ・簡易牛舎等の整備、牛舎等の補改修等、電力確保

大雪被害 12 団体

胆振東部地震被害 14 団体

台風 21 号被害 5 団体

- ・非常用電源の整備 26 団体

(3) 畜産・酪農生産力強化対策事業 [A I・E T]（中央酪農会議/委託 9,162 千円）

和子牛の生産拡大と優良な乳用種後継牛の確保により、畜産・酪農生産基盤を強化する事業の推進指導を行った。

事務取扱 91 農協 補助金額 761,508 千円

(4) 肉牛改良推進事業

和牛改良を推進するため、道内の黒毛和種のデータを分析し、育種改良及び繁殖管理の改善を目的とした指導及び情報提供のほか、道内で収集された枝肉情報と全国枝肉データベース事業による枝肉情報を用いて育種価を算定し、繁殖成績における分娩間隔の育種価と併せて、関係団体及び生産者への情報提供を行った。

また、優良な家畜の展示評価並びに肉牛の枝肉展示評価を通じて、飼養管理技術や改良増殖技術の向上を図るため、共進会・共励会の後援や協賛を行うとともに、地域の生産者や技術者対象の研修会等を開催し、本道の特色ある雌牛集団の形成や改良に対する普及啓発を行った。

① 肉牛改良推進のための研修会等の開催

- ・和牛技術研修会 全道 5 地区巡回指導
- ・和牛振興委員研修会 1 回（札幌市）
- ・和牛生産農家後継者研修会 1 回（札幌市）
- ・和牛女性部研修会 2 回（音更町・札幌市）

② 家畜生体肉質装置を用いた肉質診断の技術向上

- ③ 家畜共進会、肉牛枝肉共励会の審査・後援・協賛等 53回
- ④ 全国和牛登録協会主催の産肉能力検定事業の立会
 - ・直接検定（開始・終了） 4回
- ⑤ 家畜改良事業団主催の現場後代検定種雄牛枝肉調査の立会
 - ・現場後代検定（前期・後期） 12回
- ⑥ 協会のホームページによる肉牛改良情報の提供 22,462件（アクセス件数）
- ⑦ 和牛経営定点調査事業 19戸
- ⑧ 和牛育種事業強化支援対策
 - ・びらとり和牛育種組合
 - ・十勝和牛育種推進部会

(5) 肉用種雄牛管理事業（貸付先/301千円）

肉用牛経営の体質強化に資するため、北海道が所有する肉用種雄牛を現地に配置し、その管理を委託した。

〔管理委託頭数〕

（単位：頭）

区 分	前年度末	返納払下	当年度末	貸 付 先
黒毛和種	1	1	—	十勝農協連
計	1	1	—	

(6) 豚登録改良事業（生産者/2,805千円）

豚の登記・登録を実施することにより、品種の証明を行い、育種改良及び遺伝子能力評価のデータを効率的に収集した。また、登録規程の周知を図るため、登録審査員を対象とした講習会等を後援した。

〔登記等・証明件数〕

（単位：件・％）

区 分	子豚登記	種豚登録	一腹記録証明
件 数	712	578	291
前年度対比	337.4	404.2	168.2

(7) 強い農業づくり事業：めん羊等推進（北海道/補助100千円）

優良な系統の普及啓発を推進するとともに、めん羊の飼養管理技術及び改良増殖技術の向上を図るため、研修会を開催した。

研修会開催 2回（札幌市）

(8) めん羊登録改良事業（生産者/1,402千円）

めん羊の血統登録を実施し、品種の証明及び育種改良を推進するとともに、出生確認証明を発行することにより個体識別を促進し、円滑な改良・増殖を推進した。

〔登録・証明件数〕

（単位：件・％）

区 分	登 録		証 明
	血 統	予 備	出 生
件 数	591	14	1,587
前年度対比	89.7	87.5	75.5

(9) 酪農畜産関係組織の事務局の運営

生産振興・消費拡大・ブランド化の推進等のため、畜産生産者等が組織した各種協議会の事務局を担当し、生産者の支援を行った。

① 北海道和牛振興協議会

黒毛和種の生産者で構成され、和牛の改良増殖、生産基盤の充実と経営安定に資する各種の活動を行った。

② 北海道和牛生産戦略会議

本道における和牛の産地形成の確立と生産振興の効果的な推進を図るため、道内関係者と連携を図りながら和牛振興への取組みを行った。

③ 北海道肉用牛生産者協議会

肉牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、肉牛の振興に資する各種の活動を行った。

④ 北海道産牛肉消費拡大強化対策実行委員会

道内の肉牛生産者自らが取組む道産牛肉消費拡大事業に、関係機関と連携し積極的に支援を行った。また、各種イベント等を企画し、道産牛肉のPRに努めた。

⑤ 北海道あか牛振興協議会

あか牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道におけるあか牛の生産振興に資する取組みを行った。

⑥ 北海道短角牛振興協議会

日本短角種を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道における日本短角種の生産振興に資する取組みを行った。

⑦ 北海道めん羊協議会

めん羊を飼養する者、賛同する個人で構成され、北海道におけるめん羊の生産振興に資する取組みを行った。

⑧ 北海道指定種豚場協議会

道内で種豚を生産する個人等で構成され、優良種豚の確保・改良を促進し、養豚の生産振興に資する取組みを行った。

⑨ 北海道養鶏会議

鶏を飼養する者、賛同する企業及び団体等で構成され、北海道における養鶏の生産振興に資する取組みを行った。

⑩ 北海道畜産技術連盟

道内の関係機関・団体と連携を図りながら、畜産技術の普及啓発のために畜産関係新技術発表会の開催などの取組みを行った。

⑪ 北海道地方公営競馬振興協議会

道内における地方競馬と馬事畜産の振興及び普及啓発を図るための支援を行った。

⑫ 北海道自給飼料改善協議会

自給飼料確保に向けた啓発活動や自給飼料基盤の向上・改善のための研修会の開催などの取組みを行った。

3 補填金交付等事業

肉用牛肥育経営の安定を図るため、次の事業を行った。

(1) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（農畜産業振興機構/補助他 78,616 千円）

農畜産業振興機構からの補助金及び肥育牛契約生産者からの積立金により肥育安定基金を造成し、牛枝肉価格等の変動によって肥育牛経営の収支が悪化した時に粗収益と生産費の差額に対する補填を行った。〔平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 12 月 29 日〕

① 生産者積立金単価〔平成 28・29・30 年度〕

(単位：円)

品種区分	H28 年 4 月～H29 年 3 月			H29 年 4 月～H30 年 3 月			H30 年 4 月～12 月		
	生産者	補助金	合計	生産者	補助金	合計	生産者	補助金	合計
肉専用種	10,000	30,000	40,000	6,000	18,000	24,000	5,000	15,000	20,000
交雑種	25,000	75,000	100,000	19,000	57,000	76,000	13,000	39,000	52,000
乳用種	26,000	78,000	104,000	22,000	66,000	88,000	11,000	33,000	44,000

② 基金造成実績〔平成 30 年 4 月～12 月造成分〕

(単位：円)

品種区分	基金造成額			
	生産者積立金	補助金	運用益	計
肉専用種	94,097,000	305,664,000	890,461	400,651,461
交雑種	472,884,000	1,464,048,000	2,906,393	1,939,838,393
乳用種	838,365,000	2,645,907,000	6,947,141	3,491,219,141
合計	1,405,346,000	4,415,619,000	10,743,995	5,831,708,995

③ 補填金単価〔平成 30 年 4 月～12 月販売分〕

(単位：円)

品種区分	販売年月 ※交付は販売の翌々月									
	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	
肉専用種	—	20,500	28,300	6,900	39,300	15,100	—	—	—	
交雑種	60,800	54,300	75,000	71,000	50,800	36,700	25,200	—	—	
乳用種	38,000	23,500	21,900	25,800	25,400	40,200	33,700	33,400	39,700	

④ 補填金交付実績〔平成30年4月～12月販売分〕

(単位：頭・円)

品種区分	対象頭数	補填金額		計
		積立金	補助金	
肉専用種	10,778	54,448,050	171,931,750	226,379,800
交雑種	29,825	392,688,875	1,195,538,225	1,588,227,100
乳用種	83,097	617,659,500	1,952,357,200	2,570,016,700
合計	123,700	1,064,796,425	3,319,827,175	4,384,623,600

(2) 肉用牛肥育経営安定制度（農畜産業振興機構/委託他 23,683千円）－新規－

肥育牛契約生産者の負担金により基金を造成し、牛枝肉価格等の変動によって肥育牛経営の収支が悪化した時に粗収益と生産費の差額に対して、農畜産業振興機構からの交付金と併せて補填を行った。〔平成30年12月30日～平成31年3月31日〕

① 生産者負担金単価〔平成30年度〕（単位：円）

品種区分	平成30年度
肉専用種	16,000
交雑種	17,000
乳用種	19,000

② 基金造成実績〔平成30年12月～平成31年3月造成分〕（単位：円）

品種区分	生産者負担金
肉専用種	136,320,000
交雑種	262,191,000
乳用種	685,406,000
合計	1,083,917,000

③ 交付金単価〔平成30年12月～平成31年3月販売分〕（単位：円）

品種区分	販売年月 ※交付は販売の翌々月			
	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3
肉専用種	—	16,537.5	26,725.5	31,528.8
交雑種	—	—	—	—
乳用種	—	54,378.9	64,769.4	74,024.1

④ 交付金交付実績〔平成30年12月～平成31年3月販売分〕 (単位：頭・円)

品種区分	対象頭数	交付金額		計
		負担金	交付金	
肉専用種	5,660	32,785,937	105,846,430	138,632,367
交雑種	—	—	—	—
乳用種	26,222	419,414,001	1,267,524,957	1,686,938,958
合計	31,882	452,199,938	1,373,371,387	1,825,571,325

(3) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業：緊急支援金

平成23年度において肉用牛肥育生産者に交付した緊急支援金の返還に関する業務を行った。

緊急支援金返還実績 (単位：戸・千円・%)

区分	平成31年3月31日	
	戸数	金額
交付金額 A	322	9,320,300
全額返還 B	319	9,242,550
一部返還 C	3	39,312
返還額合計 D = B+C	—	9,281,862
回収不能額 E ※	1	24,388
未返還額 A-D-E	2	14,050
返還率 (D+E)/A	99.8	

※ 自己破産した対象者の未返還金残高

(4) 肉用牛肥育経営安定交付金制度準備業務 (農畜産業振興機構/委託5,143千円) —新規—

肉用牛肥育経営安定特別対策事業から肉用牛肥育経営安定交付金制度への円滑な移行を図るための準備業務を行った。

4 普及啓発推進事業

消費者の畜産に対する理解の促進や畜産物の消費拡大を図るため、消費者に対しPR活動を行った。

畜産関係団体調整機能強化事業 (中央畜産会/委託1,000千円)

地方競馬の振興に資するため、本協会や北海道地方公営競馬振興協議会が主催する競馬ファン対策イベントに対する支援を行った。

イベント支援：3回 (帯広市、日高町門別)

5 肉牛登録推進事業

子牛登記・登録を実施することにより、正確な血統を証明し、品種としての信頼性の向上を図るとともに、地域和牛集団の確立を推進した。

また、生産者の登録審査の意義に対する理解を深め、生産基盤の充実強化を図るため、地域技術員の審査技術の指導を行った。

[登記・登録件数]

(単位：件・%)

区 分		子牛登記	登 録
黒毛和種	件 数	70,927	10,273
	前年度対比	107.4	104.0
褐毛和種	件 数	660	136
	前年度対比	92.2	132.0
日本短角種	件 数	94	40
	前年度対比	48.7	90.9
外国種	件 数	75	51
	前年度対比	111.9	86.4

[登録審査員の養成及び技術向上]

登録窓口別審査研修及び子牛検査委員資格認定研修会 5回(安平町他)

6 機械施設リース事業

酪農畜産経営の体質強化に資するため、施設・機械の借受、貸付を実施するとともに施設の有効利用を促進するための指導を行った。

[取扱実績]

(単位：台・千円・%)

区 分		台 数	金 額	前年度対比 (金額)
協会有リース	・再生バルククーラー ・新品バルククーラー他	8	43,870	37.4
畜産近代化リース	・自給飼料生産利用機械施設 ・生乳生産合理化施設 ・畜産環境改善機械施設	45	469,399	122.6
畜産環境整備機構	・経営リース ・調査リース	10	71,172	81.7
合 計		63	584,441	99.5

7 受託事業等

関係機関・団体からの受託等により、畜産に係る調査業務等を行った。

- (1) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業〔機械導入〕（中央畜産会/委託 22,131 千円）
畜産クラスター協議会を対象とした機械導入事業の参加要望書の取りまとめなどの推進業務を行った。

配分件数 84 協議会 補助金額 11,547,830 千円

- (2) 酪農経営体生産性向上緊急対策事業〔楽酪〕（中央畜産会/委託 7,909 千円）
楽酪応援会議を対象とした労働負担軽減事業の参加要望書の取りまとめなどの推進業務を行った。

配分件数 61 会議 補助金額 1,764,215 千円

- (3) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業〔楽酪GO〕（中央畜産会/委託 3,801 千円）－新規－
楽酪応援会議を対象とした労働負担軽減事業の参加要望書の取りまとめなどの推進業務を行った。

配分件数 16 会議 補助金額 417,025 千円

- (4) 畜産クラスター全国推進実態調査事業（中央畜産会/委託 4,200 千円）
畜産クラスターに係る取組みを全国で推進するため、先進的な経営等を対象に経営内容に係る調査を行った。

調査件数 42 件

- (5) 畜産クラスター全国推進改善効果事業（中央畜産会/委託 450 千円）
畜産クラスター事業を活用して機械導入及び施設整備を行った経営体を対象にその効果に係る調査を行った。

調査件数 3 件

- (6) 農業経営サポート調査事業（中央畜産会/委託 660 千円）
日本政策金融公庫による農家への資金融資等に係る農家の経営計画作成、経営課題の把握や解決策の提案などを行った。

実施件数 16 件

- (7) 軽種馬経営実態調査業務（中央畜産会/委託 1,416 千円）
軽種馬の生産振興に資するため、軽種馬経営における販売産駒 1 頭当たりの生産費用等の調査を行った。

調査件数 10 件

- (8) 女性・リタイア世代等就農定着等推進事業（中央畜産会/委託 280 千円）－新規－
酪農経営における新規就農者の定着や中核的担い手育成のための参考資料を作成するため、新規就農者等の経営課題や経営状況等の調査を行った。

- (9) 多様な担い手育成支援事業（中央畜産会/委託 280 千円）－新規－
肉用牛経営における新規就農者の定着や中核的担い手育成のための参考資料を作成するため、新規就農者等の経営課題や経営状況等の調査を行った。
- (10) 畜産GAP拡大推進加速化事業（中央畜産会/委託 3,896 千円）－新規－
日本版畜産GAPの普及推進に向け、指導員を育成するための研修会、また、認証取得を目指す農家等に対する生産現場における研修会を開催した。
- | | | |
|----------------|-----|--------------------|
| 指導員研修会の開催 | 1 回 | 40 名（札幌市） |
| 生産現場における研修会の開催 | 3 回 | 172 名（札幌市、帯広市、北見市） |
- (11) 動産担保融資支援事業（日本政策金融公庫・生産者/委託他 8,788 千円）
日本政策金融公庫、十勝畜産農業協同組合並びに上川家畜商業協同組合と締結した「ABL協定」に基づき、肉用牛及び乳用牛を担保に運転資金の融資を受けた農家について、飼養牛のモニタリングを行った。
- また、ABL活用の手法や課題を検討するため、関係機関等による情報交換会を開催した。
- | | |
|--------|----------|
| モニタリング | 14 件 |
| 情報交換会 | 1 件（帯広市） |
- (12) 公庫資金活用推進事業（日本政策金融公庫/委託 350 千円）
公庫資金が地域の実態に応じて、総合的かつ計画的に活用されるよう、地域農業の実態把握と問題解決に向けた研修会や指導資料の作成を行った。
- | | |
|--------|----------|
| 研修会の開催 | 2 回（札幌市） |
|--------|----------|
- (13) 草地難防除雑草駆除対策事業 [H29 年度分]（日本草地畜産種子協会/委託 9,240 千円）
[H30 年度分] 265 千円）
自給飼料基盤に立脚した安定的な畜産経営の実現を図るため、難防除雑草の繁茂した生産性の低い草地から高位生産草地への転換を進める事業の推進指導を行った。
- | | | | |
|----------------|-------|-----------|-------|
| 事務取扱 [H29 年度分] | 54 地区 | [H30 年度分] | 60 地区 |
|----------------|-------|-----------|-------|
- (14) 放牧畜産実態調査事業（日本草地畜産種子協会/委託 1,464 千円）
放牧畜産を推進するため、優良事例の調査、放牧畜産推進上の課題の抽出及びその対応策の検討等を実施した。
- | | |
|--------|------|
| 現地調査件数 | 22 件 |
|--------|------|
- (15) 畜産近代化リース貸付指導等事業（畜産近代化リース協会/委託 3,598 千円）
畜産近代化リース事業による貸付機械の適切な管理を図るため、現地調査指導を行った。また、農協等に対し同事業の新規開拓、普及啓発を行った。
- | | |
|-----------|-------|
| 調査指導 | 48 基 |
| 新規開拓・普及啓発 | 7 農協等 |
- (16) 地域経済状況調査事業（北海道農業公社/委託 2,484 千円）
酪農経営等の経済状況等の調査を行い、地域・規模別の経営類型資料を作成した。
- | | |
|------|------|
| 調査地域 | 4 地域 |
|------|------|

(17) 自給飼料改善指導事業（ホクレン農協連・北海道農業公社・雪印種苗/1,439千円）

近年の草地における様々な課題に取り組むため、関係団体により設置した「北海道自給飼料改善協議会」と連携して、自給飼料確保に向けた資料作成や自給飼料基盤の向上・改善のための研修会を開催した。

自給飼料確保に向けた啓発資料の作成 6,000部

自給飼料生産優良事例発表会の開催 1回（札幌市）

自給飼料改善協議会セミナーの開催 1回（札幌市）

8 北農ビル賃貸事業

北農ビルの一部所有者として、北農ビルの管理運営を行った。

第3 会議等の開催

1 総 会

平成30年度 通常総会

平成30年6月26日

〔議 事〕

議案第1号 平成29年度事業報告及び決算報告等について

議案第2号 役員を選任について

議案第3号 平成30年度役員報酬について

議案第4号 平成30年度会費負担額及び納入について

報 告 事 項 平成30年度事業計画及び収支予算について

2 理 事 会 — 議決事項及び報告事項 —

〔第1回〕

平成30年5月8日

① 役員推薦会議における推薦委員の選任について

② 肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務規程の一部改正について

〔第2回〕

平成30年6月13日

① 平成30年度通常総会の開催について

② 平成30年度通常総会の提出議案について

③ 会員の入会について

報 告 事 項 職務の執行状況について

〔第3回〕

平成30年10月31日

① 肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務規程の一部改正について

② 牛マルキン事業法制化に伴う積立金管理者の指定申請について

〔第4回〕

平成30年11月20日

① 肉用牛肥育経営安定制度（法制化牛マルキン）の実施について

② 公益目的支出計画の変更について

報 告 事 項 ① 平成30年度事業の実施状況等について

② 農事組合法人 細澤牧場に係る民事再生及び特定調停について

〔第5回〕 平成31年1月15日
肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務規程及び肉用牛肥育経営安定制度業務規程の一部改正について

〔第6回〕 平成31年3月18日

- ① 平成31年度事業計画及び収支予算について
 - ② 酪農畜産施設貸付事業業務方法書の一部改正について
 - ③ 肉用牛肥育経営安定制度業務規程の一部改正について
 - ④ 諸規程の改廃について
 - ⑤ 役員推薦委員の選任について
 - ⑥ 重要な使用人の任免について
 - ⑦ 永年勤続者の表彰について
 - ⑧ 会員の入会について
- 報告事項 公益目的支出計画の変更の認可について

3 専門委員会

家畜登録改良事業 和牛登録専門委員会

〔第1回〕 平成30年8月6日

- ① (公社)全国和牛登録協会に係る総会・各種報告について
- ② (一社)北海道酪農畜産協会登録事業について

〔第2回〕 平成30年12月4日

- ① 第13回全国和牛能力共進会北海道誘致(案)について
- ② 消費税率引上げによる黒毛和種登録料金の見直し(案)について

家畜登録改良事業 和牛改良専門委員会

平成31年3月14日

- ① 北海道和牛改良推進目標の現状について
- ② 北海道推奨種雄牛について
- ③ 第12回全国和牛能力共進会について

4 監査

〔監事監査〕 平成30年5月30日

平成30年度監事監査(平成29年度決算分)

〔内部監査〕

- | | | |
|-------|------------|----------------|
| ① 第1回 | 総務部 | 平成30年8月28日～30日 |
| ② 第2回 | 畜産クラスター推進室 | 平成30年10月2日、3日 |
| ③ 第3回 | 家畜登録改良部 | 平成30年12月5日、6日 |
| ④ 第4回 | 経営支援部 | 平成31年3月4日、5日 |

第4 会員及び役職員数

[会 員]

項 目	29年度 期 末	30年度		30年度 期 末
		増	減	
会 員	206	4	—	210
団 体	54	—	—	54
農 協	85	2	—	87
市町村	67	2	—	69

[役職員]

項 目	29年度 期 末	30年度		30年度 期 末	摘 要
		増	減		
役 員	12	—	—	12	うち常勤理事1名
理 事	10	—	—	10	
監 事	2	—	—	2	
職 員	38	3	3	38	

事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。